2024年12月期 第２四半期（中間期）
決算補足説明資料

株式会社アプリックス（3727）

2024年８月13日

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

INDEX
目次

1. 2024年12月期 第2四半期（中間期）連結決算概要
2. 連結業績予想に対する進捗状況
3. 「自己株式の取得」の再実施
4. APPENDIX

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

1. 2024年12月期第２四半期（中間期）連結決算概要

2024年12月期第２四半期（中間期） 連結決算概要｜エグゼクティブサマリー

- 売上収益はほぼ前年同期横ばい
- 事業利益（※）はM＆A関連費用61百万円が計上されたため前年同期と比較して減少したものの、業績予想に対しては順調に推移

（詳細については後記「連結売上収益及び事業利益の概況」参照）

連結売上収益

1,904百万円

前年同期比	業績予想進捗率
▲0.5%	44.9%
（前年同期：1,914百万円）	（業績予想値：4,235百万円）

連結事業利益

102百万円

前年同期比（※）	業績予想進捗率
▲28.1%	46.5%
（前年同期：142百万円）	（業績予想値：219百万円）

EBITDA

140百万円

前年同期178百万円

から38百万円減

営業キャッシュ・フロー

▲38百万円

前年同期254百万円

から293百万円減

※ 「事業利益」は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出。
※ 前年同期（2023年12月期第２四半期）においてMVNOブランドの未収債権の回収に関する貸倒引当金の取崩額等が約46百万円発生し、臨時的な事業利益の増加要因となった。この一時的要因を除く前年同期事業利益は95百万円であり、実態の前年同期比は+7.1%。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

2024年12月期第２四半期（中間期） 連結決算概要 | セグメント別業績概要

（単位：百万円）	ストックビジネス事業		システム開発事業		調整額
	売上収益	セグメント事業利益	売上収益	セグメント事業利益	事業利益
2023中間期累計実績(A)	1,586	177	328	75	▲111
2024中間期累計実績(B)	**1,628**	**188**	**288**	**29**	**▲115**
増減額（B－A）	42	10	▲40	▲46	▲4
増減率（%）	2.6%	5.9%	▲12.3%	▲61.0%	▲4.0%

※セグメント売上収益はセグメント間の内部売上収益を含む
※調整額：セグメント間取引消去、全社費用を含む

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

ストックビジネス事業

- 第1四半期決算でお知らせした、主要取引先におけるビジネスモデルの転換に伴う新規獲得数の減少や過去の保有回線における当該取引先の不適切な取り扱いによる回線の解約件数増加の影響により、MVNE/MVNOについては前年同期と比較して減少。
- 他方、本年４月１日に取得した株式会社Ｈ２及び株式会社スマートライフの業績がグループ業績に寄与。

以上の結果、ストックビジネス事業の売上収益及び事業利益については前年同期と比較して微増

システム開発事業

- 収益性が高い「MyBeaconシリーズ」などの製品販売について顧客の発注タイミングによる売上計上の期ズレ発生。
- システム開発事業の主力として取り組んできた受託開発について、フロービジネスからリカーリングビジネスへ転換を図るべく受託内容の見直しを行っており案件数が一時的に減少。

以上の結果、システム開発事業の売上収益及び事業利益については前年同期と比較していずれも減少

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

ストックビジネス事業

- MVNE/MVNO事業として音声及びデータ通信サービスを提供。顧客ブランドとしてpowered byスキームを提供する「かんたんMVNO」などを推進。業績見通し修正要因となった主要取引先については、今後の継続的な関係を視野に入れた新たな取引条件等を設定。
- クラウドモバイルルーター「THE WiFi」の販売
- 国内向け循環型通信サービス「レンタルWiFiの窓口」の提供開始
- ライドシェア向け通信型ドライブレコーダー「AORINO for ライドシェア」の提供開始
- 光コラボレーションサービス「まとめて光」などを販売

システム開発事業

- ランサムウェア対策としてMicrosoft365向けクラウド型バックアップシステム構築
- クラウドサービス事業会社のクラウドシステムポータル開発
- クラウドサーバーの省電力化開発
- OMOプラットフォームサービス向けシステム開発支援
- クラウドデータ連携システムの開発支援及びアプリケーション機能開発
- 宅配水事業者向けAWSインフラ構築、その他システム開発及び保守
- 通信機能付AIドライブレコーダー「AORINO」の次世代システム開発及びアルコールチェッカー用アプリケーション開発
- その他、既存ユーザーのシステム開発支援などの案件が継続して進行中

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

（単位：百万円）	2023年12月期中間期	2024年12月期中間期	増減額	増減率
売上収益	1,914	**1,904**	▲10	▲0.5%
営業費用	1,772	**1,802**	▲29	▲1.6%
事業利益（※）	142	**102**	▲40	▲28.1%
EBITDA	178	**140**	▲37	▲21.2%
営業利益	202	**102**	▲100	▲49.5%
親会社の所有者に帰属する中間利益	177	**73**	▲103	▲58.3%

※ 前述のとおり前年同期においてMVNOブランドの未収債権の回収に関する貸倒引当金の取崩額等が約46百万円発生。
これを加味しない事業利益の実態増減率は+**7.1**%

※ 前述のとおり当中間期の事業利益にはM＆A関連費用61百万円が含まれているため、
これを加味しない場合は前年同期と比較して実態は増加

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

2. 連結業績予想に対する進捗状況

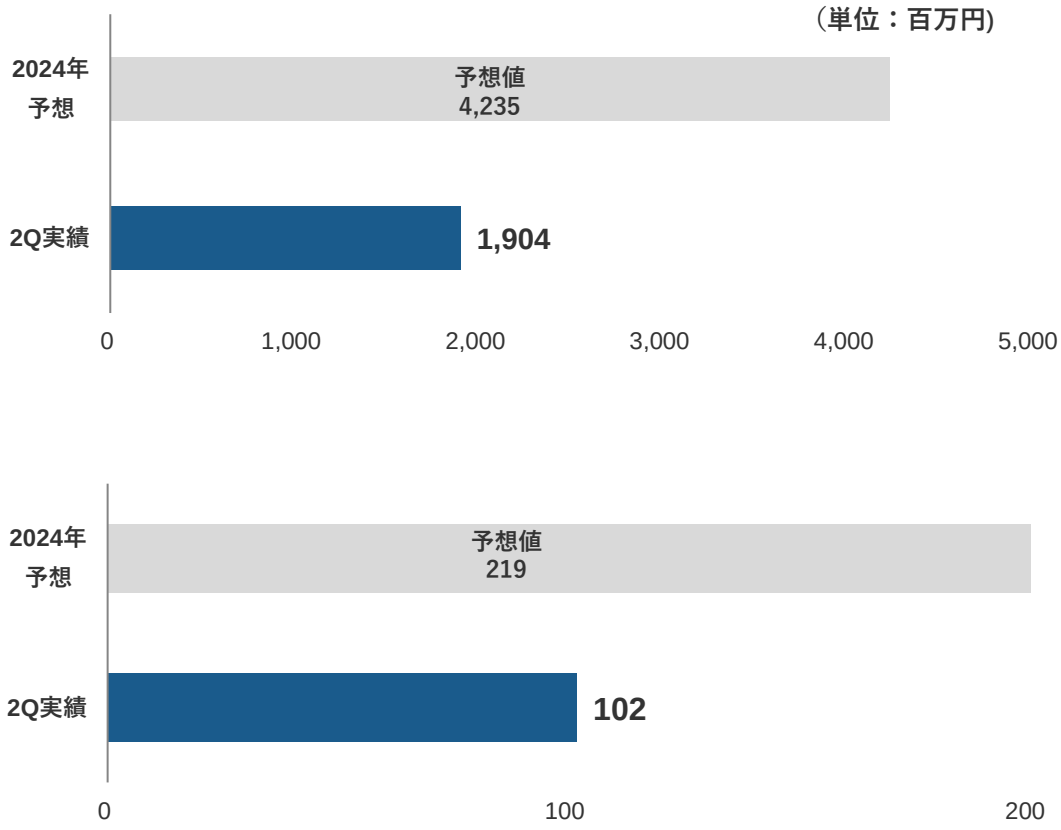
売上収益、事業利益ともに概ね計画どおりに進捗
新規に立ち上げたサービスの販売強化などを通じて更なる収益の増加を目指す

予想売上収益
4,235百万円

2Q連結売上収益
1,904百万円
（予想進捗率44.9%）

予想事業利益
219百万円

2Q連結事業利益
102百万円
（予想進捗率46.6%）



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

３．株主還元策について

「自己株式の取得」の再実施

- 2024年5月13日の取締役会決議に基づいて実施した自己株式の取得について、
  7月25日を以て予定株数（445,000株）の買付が完了。
  買付した自己株式の全数については9月30日を以て消却予定。

- 継続的な株主還元策の実施を図ることを目的として、また株価の状況等を踏まえ、
  下記の要領で再度実施することを決定。

【実施要領】

1. 取得対象株式の種類
   ・普通株式

2. 取得し得る株式の総数（上限）
   ・110,000株（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.5%）

3. 株式の取得価額の総額（上限）
   ・20,000,000円

4. 取得期間
   ・2024年８月14日～2024年８月31日

5. 取得方法
   ・東京証券取引所における市場買付

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

剰余金の配当について

- 株主還元策についてはすでにお知らせしたとおりEPSやROEの上昇、また株価割安感の醸成を期待できる点をふまえ当面は「自己株式の取得」を優先する方針としたが、「自己株式の取得」を実施したうえで株価の推移状況などを踏まえた結果、**当社の取締役会で株主還元をもっと強化すべき、との結論となった**

- これを受けて当社では「自己株式の取得」と合わせて、**剰余金配当を実施することについて前向きに議論を重ねている**

現状の方針

次回の定時株主総会で株主の皆様のご賛同を得た後に
当社では初となる剰余金の配当を実施予定
（詳細については現在取締役会などで検討中）

※ 上記についてはあくまでも現段階の方針であり、今後業績や手元キャッシュ、株価などの状況により変更の可能性がある点についてご認識ください。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

4. 事業ビジョンの策定について

事業ビジョンの策定について

- 2024年2月に開示した2023年12月期決算補足説明資料において、
  中期業績目標を事業利益10億円と設定

- 上記の中期業績目標を達成するため具体的な今後の事業方針について検討を重ねた結果、
  事業ビジョンを新たに策定

（詳細については次ページ以降）

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

Aplix

事業ビジョン

ＩＣＴと最新テクノロジーの融合による豊かな生活体験の創出

私たちが目指す姿は、
誰もが安心して利用できる、持続可能で包括的な社会の実現です。

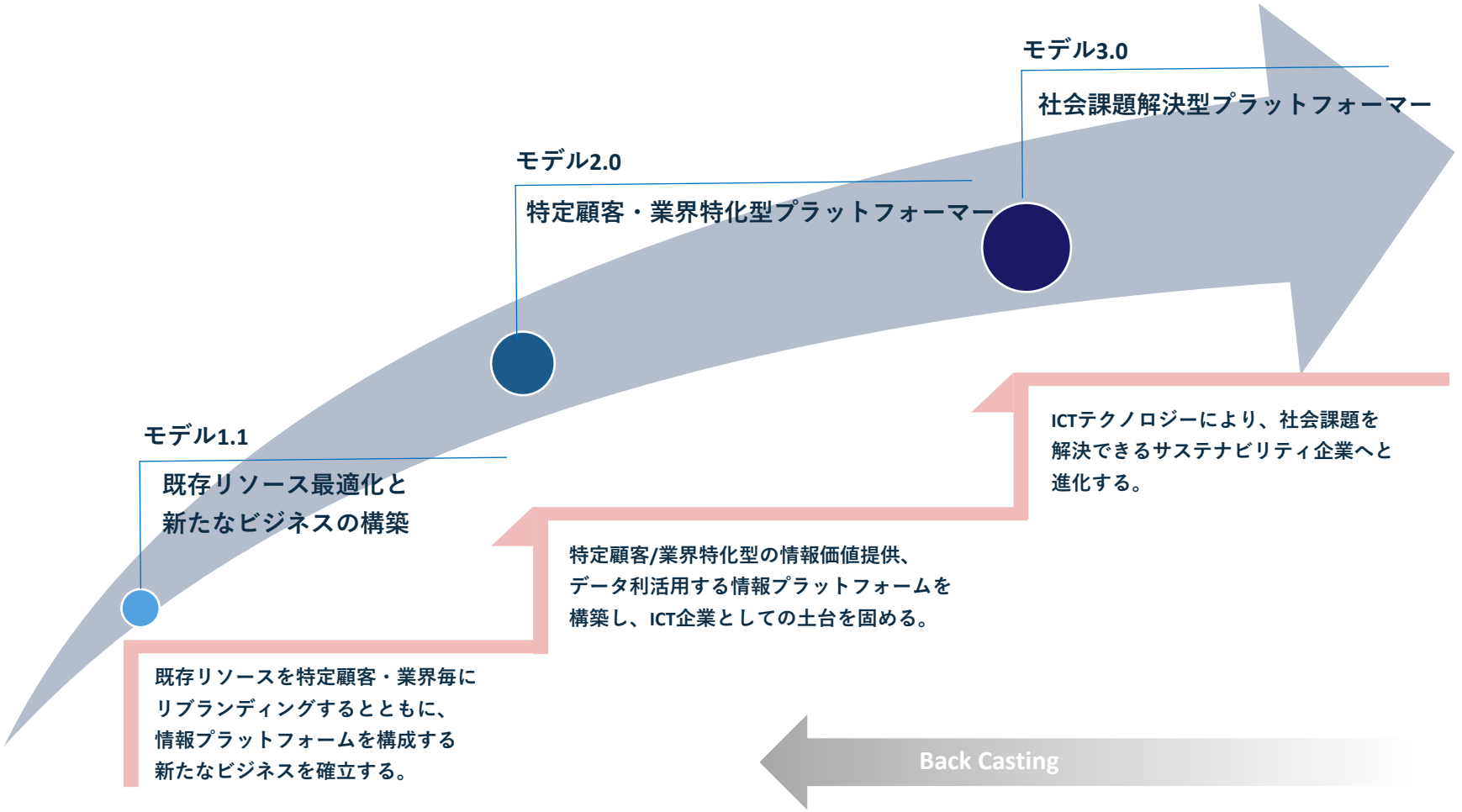
私たちの活動領域は、安全で信頼性の高い通信を基盤とし、
人々の生活に密接に関わる全ての分野です。

ICT（情報通信技術）の可能性と最新テクノロジーを融合させ、
日々の生活をより豊かに変革させることで、持続可能な未来への貢献を目指します。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

今後の事業方針

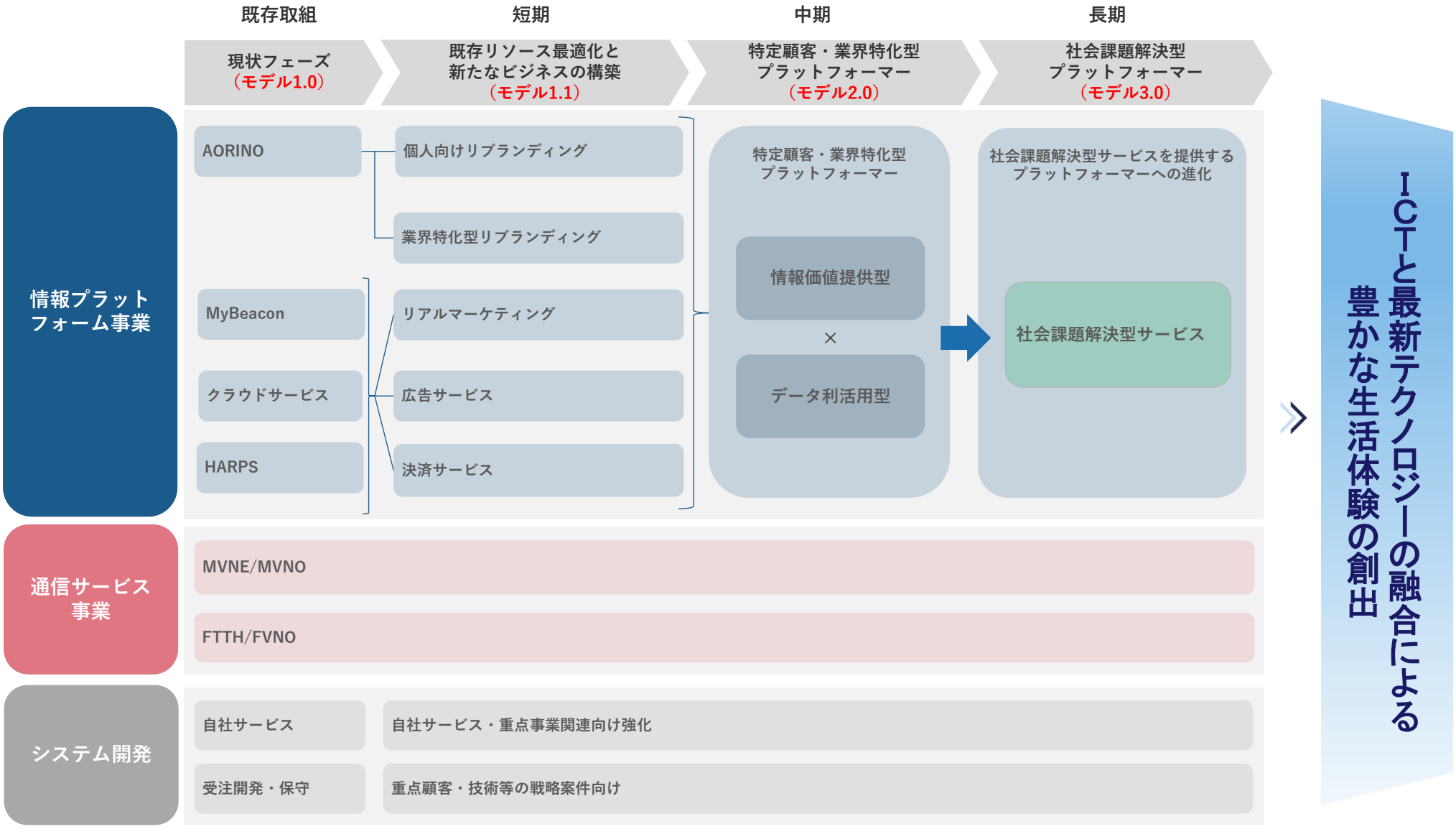
自社リソースの最適化と新たなサービス・セグメントへの展開を通じて
社会課題解決型プラットフォーマーを目指す



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

事業ビジョンの策定について

事業ロードマップ



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

5. APPENDIX

会社概要

会社名	株式会社アプリックス [英文表記：Aplix Corporation]
本社所在地	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号
設立年月日	1986年2月22日
資本金	51百万円　[2024年６月末現在]
売上収益	3,761百万円（連結） [2023年12月期]
従業員数	52名（連結） [2024年６月末現在]
事業内容	ストックビジネス事業 システム開発事業
グループ会社	スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社 （略称：SMC） 株式会社Ｈ２ 株式会社スマートライフ

代表取締役社長
倉林　聡子

大手SI企業で会計システム導入コンサルティング、
機関投資家向けIR等を担当した後、2005年に当社入社。
グループ全体の事業予算管理や財務経理など管理業務全般に統括的な立場で携わるほか、J-SOX等の内部統制システム構築・改善やM&A、コーポレートファイナンスなども推進。
2022年3月、代表取締役に就任。

経営全般及び管理部門担当

取　締　役
鳥越　洋輔

スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社（SMC）の代表取締役社長としてMVNOを基軸としたストックビジネスを推進。
2019年にアプリックスグループに参画後は、アプリックスグループのストックビジネス立ち上げを推進するとともに、IoT開発やクラウド開発、エンジニアリングサービスなどの営業・開発部門を主導。

営業・開発部門担当
スマートモバイルコミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長　兼任
株式会社Ｈ２　代表取締役社長　兼任

社外取締役	平松　庚三
社外取締役	田口　　勉
常勤監査役	大西　完司
社外監査役	山田　　奨
社外監査役	坂口　禎彦

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

経営理念

テクノロジーの力で
ワクワクの共有と価値創造

私達は、組込みシステム開発からアプリケーションやクラウドシステム等の開発、通信サービスの提供まで幅広い分野のテクノロジーを有するモノづくりの会社として、「こういうことができたらいいな」と思うサービスや機能を様々な手法を用いて実現し、お客様に利用し続けていただくことを通じて、顧客、取引先、アプリックス社員、さらには株主、投資家、その他私たちを取り巻く人々みんなで「ワクワク」を共有します。
そして私たちの感じる「ワクワク」が更なるサービスや機能を創出し、ビジネスや生活の利便性向上や安心安全、楽しく暮らせる社会の実現へとつながる価値創造の連鎖を生み出してまいります。

事業の概要

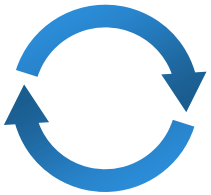
安定的に収益獲得可能なストックビジネスを中心とした「ストックビジネス事業」とアプリックスが持つ「組込み開発力」をベースにアプリケーションからクラウドまで柔軟かつ多様な開発対応が可能な「システム開発事業」の2事業を相互に連携させたビジネスを推進。

ストックビジネス事業

- MVNO
- 自社サービスの提供
- 他社クラウド/SaaSサービスの提供

アプリックスが持つ「テクノロジーの力」で、誰もが長く安心・安全、便利に使えるモニタリングプラットフォームやMVNOなどのサービスやソリューションを提供

開発案件をトス



開発力・技術力の提供

システム開発事業

- システム開発
  （組込み・アプリ・バックエンド・クラウド等）
- 運営管理・サポート
- 製品販売

アプリックスが強みとする組込み＆エッジからクラウドまでワンストップで開発できる技術を用いて、顧客仕様の受託開発・SES・サポートサービス等を提供

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

継続課金モデルのサービスを提供

BtoBビジネス

・自社IoTサービス
・他社クラウドサービス
・AIドライブレコーダー（法人向け） など

企業

Aplix

BtoBtoB/Cビジネス

企業　企業　一般コンシューマー

・音声/データ通信サービス
・モバイルWiFiルーター
・AIドライブレコーダー など

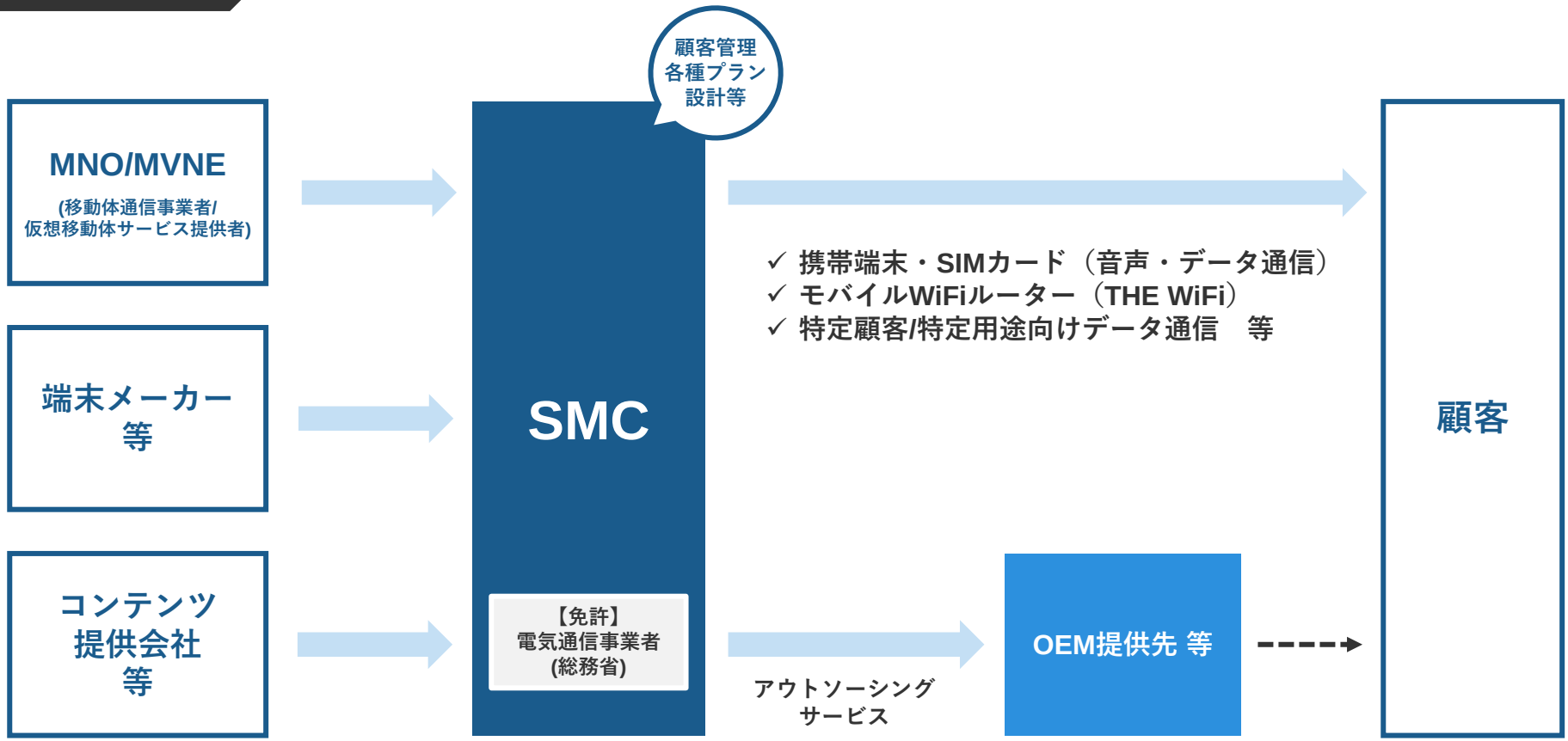
BtoCビジネス

一般コンシューマー

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

回線・端末・コンテンツ等の仕入から、販売代理店等の活用、様々な通信プラン設計、
他社ブランド向けの通信サービス提供、契約管理から収納管理までの一連のバックオフィス業務。

MVNOの商流



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

MVNO

携帯端末・SIMカードの提供
（音声・データ通信サービス）

インターネットサービス
まとめて光

モバイルWiFiルーター
THE WiFi

国内向け循環型通信サービス
「レンタルWiFiの窓口」

レンタル WiFiの窓口

- 大容量のデータ通信容量プラン
- レンタル機器の往復送料0円
- 最短でお申込日当日に商品を発送、翌日にお届け
- ポスト投函、郵便局でレンタル機器の返却手配可能
- 事務手数料、機器購入費、契約解除料、回線工事費なし
- 提供回線はドコモ回線網を利用
- 最大10名迄、回線をシェアしてデータ通信利用が可能

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

｜AIドライブレコーダー

AORINO
＜個人向け＞

緊急時110番通報

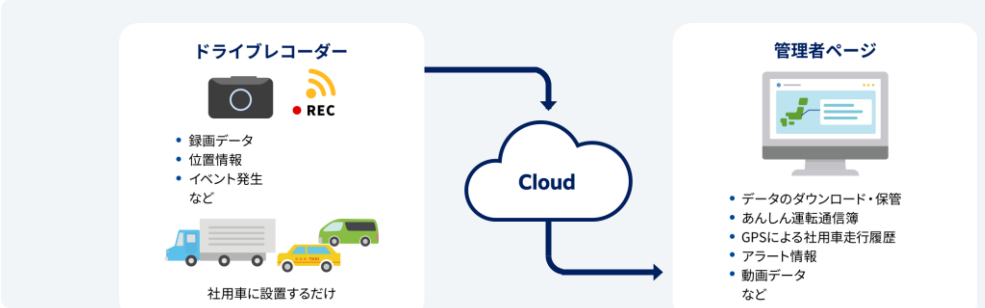
危険運転アラート

自動クラウド
アップロード

あんしん運転
通信簿

マイページ
各種記録確認

AORINO Biz
＜法人向け＞



アルコールチェック

アルコールチェッカーをスマホとBluetoothで無線接続し、測定結果、測定者の画像、測定場所情報をクラウドへ送信。
管理者ページで、測定結果をリアルタイムに確認出来ます。
また、ドライブレコーダー情報と紐づけて管理することも可能です。

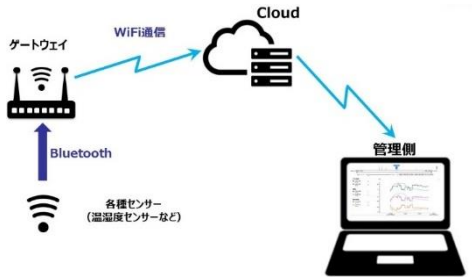
国交省補助金認定機器（※1）全日本トラック協会助成金認定機器（※2）
※1 令和3年「ITを活用した遠隔地における点呼機器」　※2 令和3年IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器
※ご利用には別途、当社の指定の「アルコールチェッカー」のご購入が必要です。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

｜自社IoTサービス

モニタリングプラットフォームサービス

HARPS™



- センサーで取得したセンシング情報をクラウド上でモニタリング
- 水や温湿度など様々な状態を管理可能

IoT用データ通信サービス

unio(ユニオ)

位置情報取得

防犯・防止カメラ

機器監視

POSレジ

モニタリング

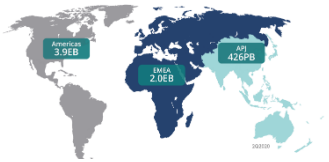
リモート監視

｜他社クラウドサービス

ストレージクラウドサービス

Neutrix Cloud

INFINIDATストレージ販売実績



全世界で6.3EBの運用実績。

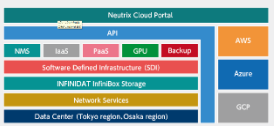
パブリッククラウド接続ストレージ

NeutrixCloudのみにデータを置いて各パブリッククラウドからコンピューティングが可能。

経済性に優れた価格設定

クラウドストレージを￥10/GBで提供し、データ転送料金等コストを大きく下げる事が可能。

サービスポートフォリオ

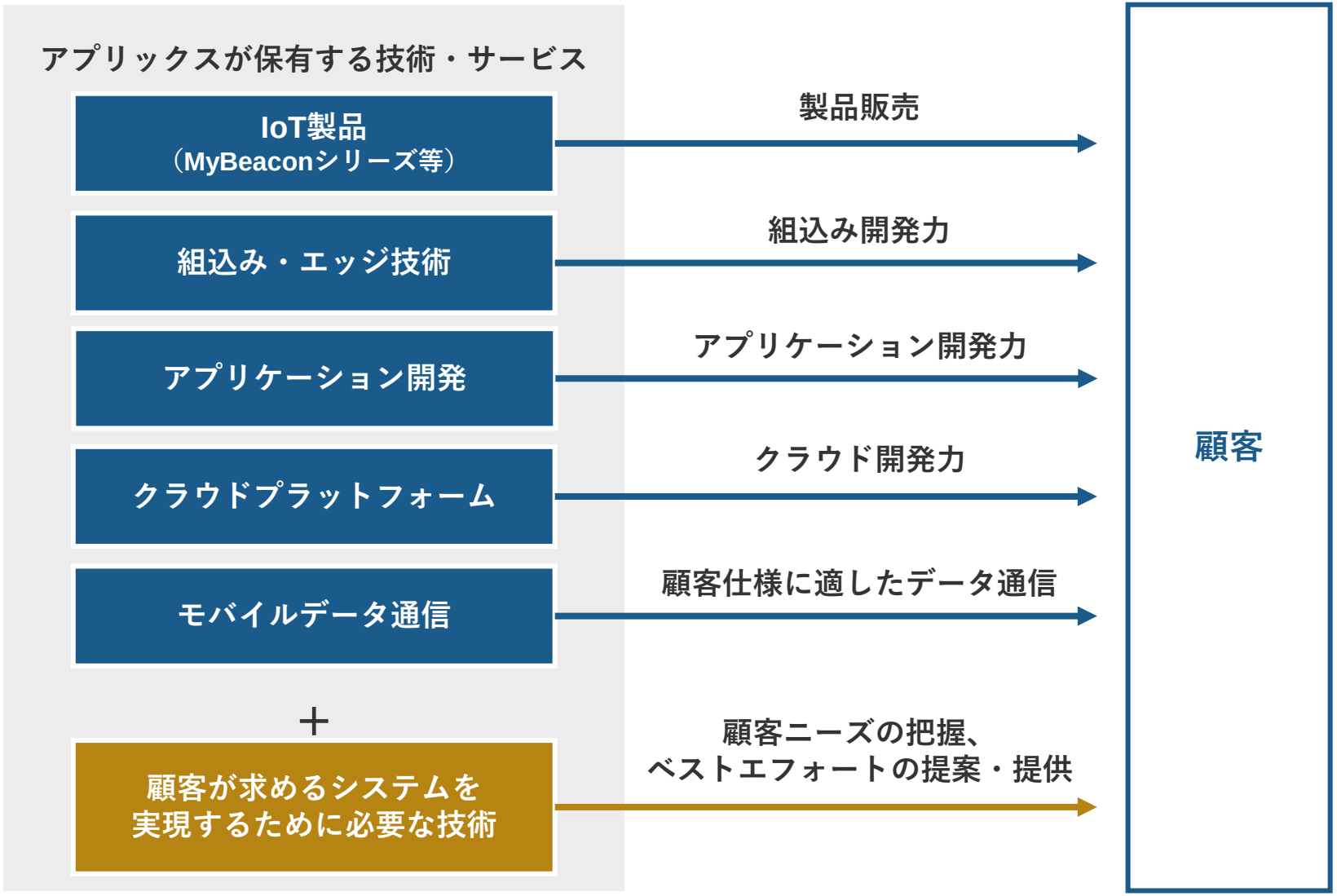


コンピュート、ネットワーク、ストレージ等のクラウド基盤も同時に提供可能。

Neutrix Cloud Japan株式会社の販売代理店として同社が提供する「Neutrix Cloud」を販売

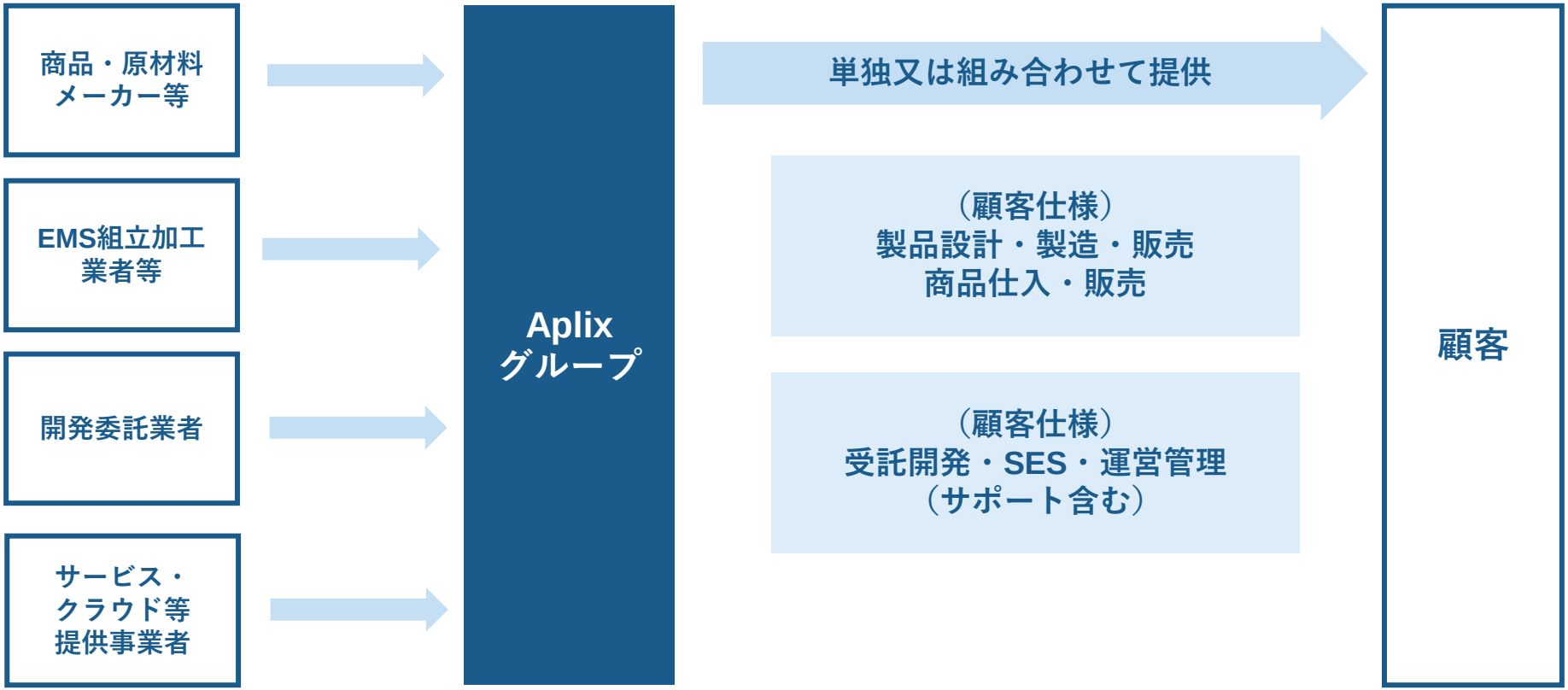
Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

アプリックスが保有する技術やサービスを用いて、顧客が実現したいサービスや仕組みの開発・運営管理等を行う。



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

ビジネスモデル｜システム開発事業



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

システム開発支援（ネスレ日本株式会社様）

ネスレ社のコーヒーマシン「ネスカフェ バリスタシリーズ」、「ネスカフェ ドルチェグストシリーズ」のアプリケーションおよびIoTプラットフォームをアプリックスが開発・運用。

ネスカフェ ゴールドブレンド
バリスタ デュオ プラス

ネスカフェドルチェグスト
Esperta（エスペルタ）

ネスカフェドルチェグスト
GENIO I（ジェニオ アイ）

ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタW [ダブリュー]

アプリでコーヒーの
濃さ・泡立ちを調整

飲めば飲むほど
ポイントがたまる

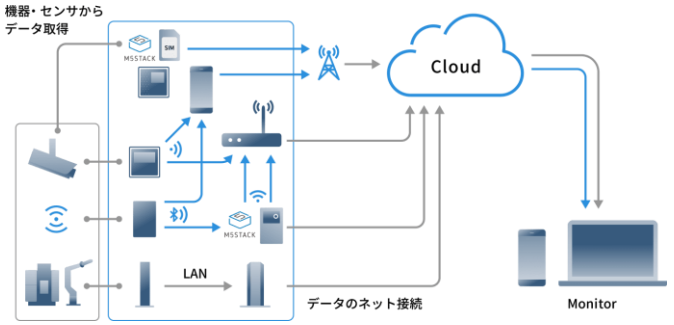
家族や友達と
つながる

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

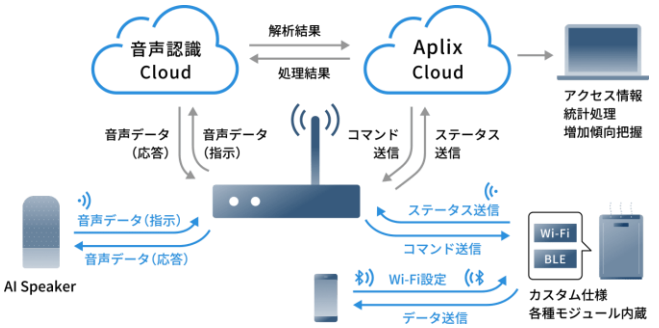
IoT製品・技術・サービス等を用いたシステム開発

機器の状態やセンサー情報をIoT機器でクラウドに収集、エッジデバイスで分散処理、クラウドシステムでデータを分析・活用、デバイスに指示を出して制御する等、IoTが実現する一連のシステムの動きを顧客向けの製品開発やシステム開発等で実現。

遠隔モニタリングシステム



機器の音声制御・データ分析



開発分野

amazon dash Replenishment

- 対応製品開発

- iOS/Android/ハイブリッドスマートフォンアプリ開発
- 各種OS向けアプリケーション開発

- クラウド開発
  （Google Cloud Platform/ Amazon Web Services/ Microsoft Azure）

- ファームウェア開発
- ハードウェア開発
  （回路設計、基板設計など）
- 組込みソフトウェア開発
- デバイスドライバー開発
- FPGA開発

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

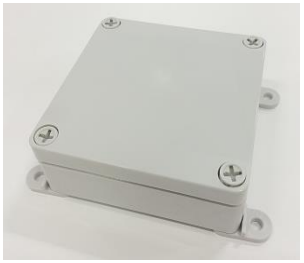
ロケーションビーコン「MyBeaconシリーズ® 」

Bluetooth Low Energyモジュールを使用した当社のBluetooth Smart製品。

Beaconに対応したiOSデバイス向けにデータを発信し、iBeaconに対応したiOSデバイスを使って発信するデータを書き換えることが可能。

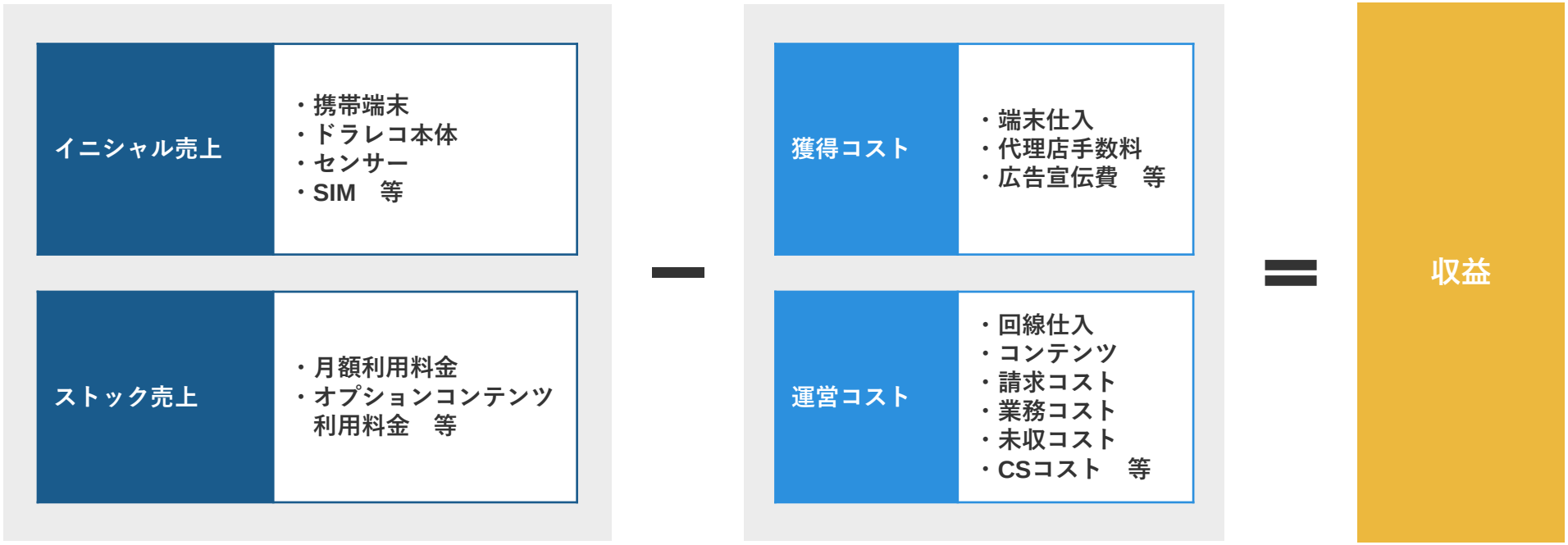
顧客仕様のカスタマイズや、ビーコンを活用したシステム開発等にも対応。

「MyBeaconシリーズ」ラインアップ

汎用型	防水防塵型	ペンダント型	USBスティック型
			

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

ストック収益を基盤とした安定した収益構造

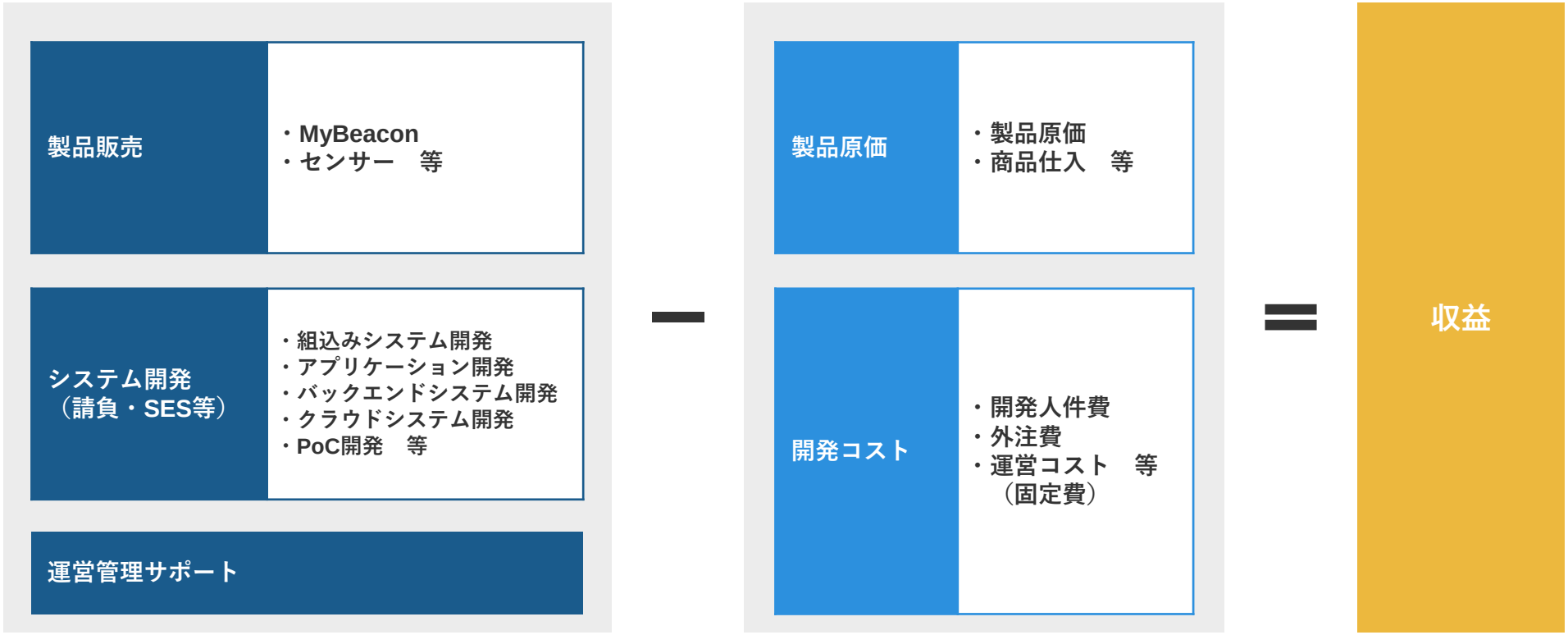


ユーザー数の増加に伴い上昇

ユーザー数増加による
ボリュームディスカウント
（回線仕入）

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

開発件数、規模に応じた収益獲得モデル



・開発件数/開発規模の増加に伴い売上安定化
・継続的な受注によるストック収益化

稼働率向上、経験曲線効果等
により開発コスト削減

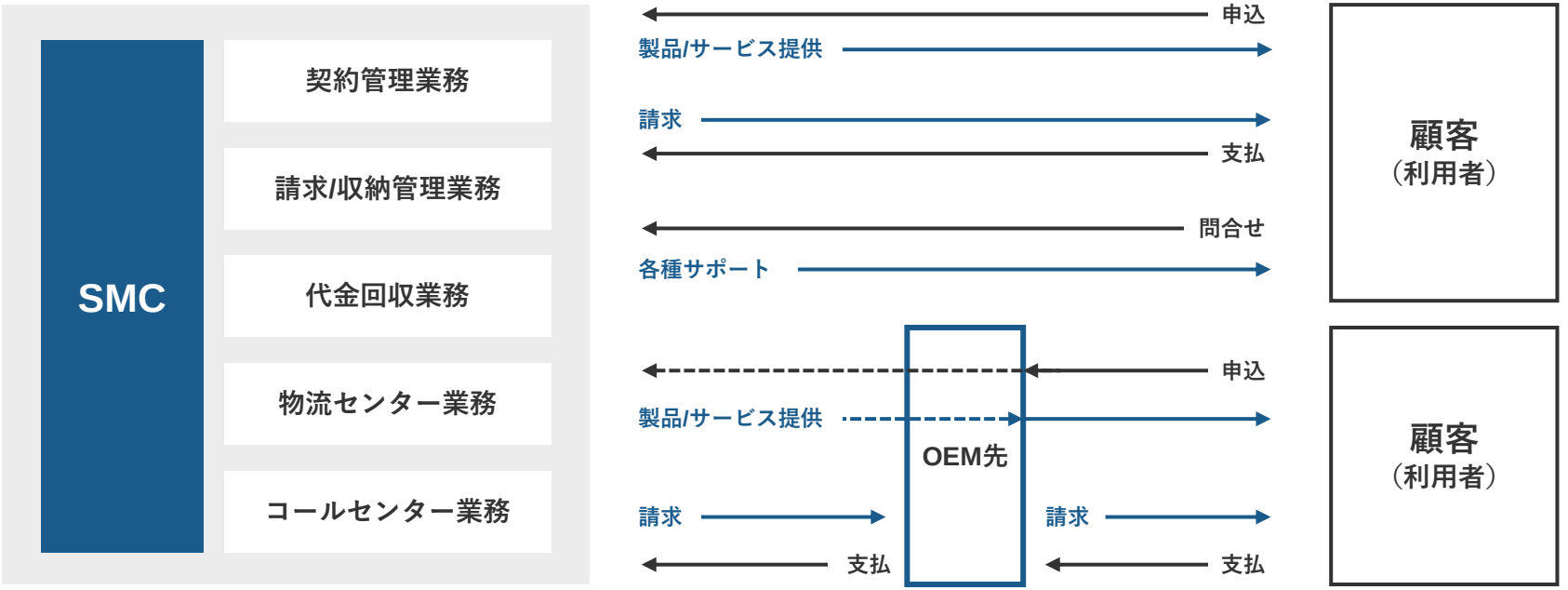
Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

当社の強み

確立されたサービス提供の仕組み/その仕組みの応用

■ 通信回線、携帯端末、コンテンツ等の商材を顧客に販売する際に必要な仕組みを構築済み。
その仕組みを応用することにより、格安ケータイ・SIMカード以外のサービスについてもスムーズにスタートできる。

サービス提供の主な仕組み



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

当社の強み

開発力×ラインナップ

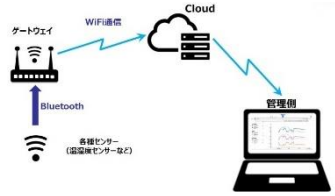
■ 自社や他社システム・クラウド開発で培った知見（＝システム開発事業の強み）をベースとして、新規自社サービス・ソリューションの創出や取り扱い可能な他社システム・クラウドサービスを増やすことで、多種多様な顧客のニーズに対応できるラインナップの充実を図る。

ラインナップ（一例）

自社サービス

モニタリングプラットフォームサービス

HARPS™



通信機能付きAIドライブレコーダー

AORINO™（アオリノ）

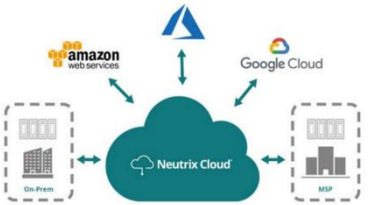
IoT用データ通信サービス

unio（ユニオ）

他社クラウド/SaaSサービス

ストレージクラウドサービス

Neutrix Cloud



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

当社の強み

「組込み」開発力

■ 1986年の創業以来、メディアやネットワーク、制御系機器などのテクノロジー化や組込みシステム向けのWebブラウザ、Javaプラットフォームの開発、また顧客製品・ソリューションのIoT化など、「組込み」に関する経験と技術を強みとして様々な開発を実施。

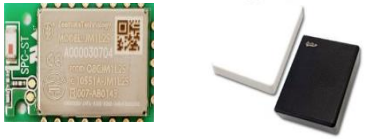
自社開発実績（一例）

CD-R書き込みソフトウェア

組込みシステム向けWebブラウザ

Javaプラットフォーム

BLE製品・モジュール



顧客向け開発実績（一例）

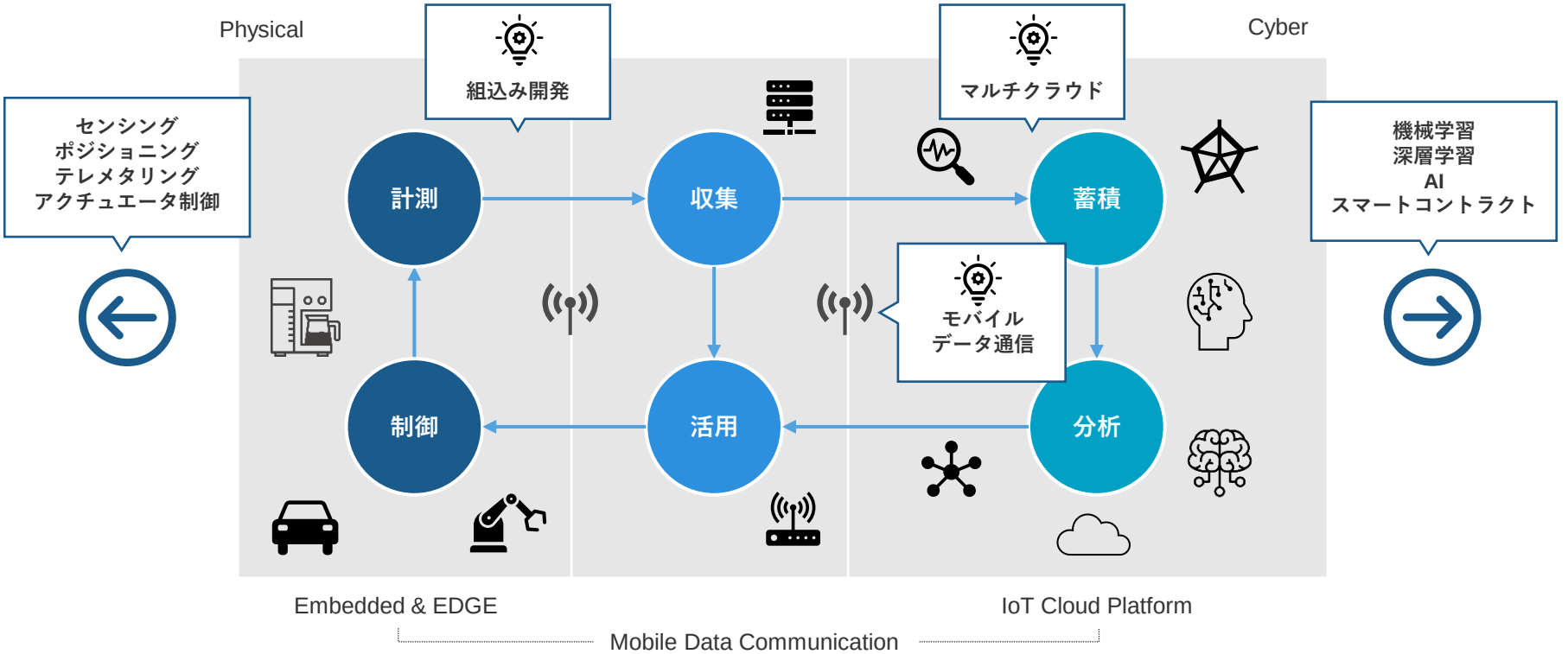
- ネスレ日本株式会社
- アクアクララ株式会社
- その他
  （一般家庭向け献立支援アプリ、クラウドシステムポータル、決済機能付きタブレット端末等の開発）

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

当社の強み

ワンストップ開発

■ アプリックスの強みである「組込み開発力」、多数の顧客向けシステム・クラウド開発から得られた知見やノウハウ、MVNO事業者として保有する通信技術、これらを組み合わせた組込み＆エッジからクラウドまでのワンストップ開発が可能。



Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

人的資本経営への取り組み

- 社員一人ひとりが高い意欲を持ち、充実感を感じながら仕事に打ち込めるような環境作りを目指した社内プロジェクト
  「ワークライフ・コラボレーション・プログラム」を2023年6月よりスタート

- 多様な価値観を尊重した働き方と高いパフォーマンスを発揮できる環境を提供し、社員一人ひとりの働きがい向上につながる取り組みを追求していきます。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

人的資本経営への取り組み

- 「ワークライフ・コラボレーション・プログラム」の内容

WORK ―多様な働き方の促進―

1. **居住地にとらわれない完全テレワーク制度**
   柔軟な働き方を促進することを目的として、2020年より子会社も含めたアプリックスグループ全体で完全テレワーク制に移行
2. **フレックスタイム制度**
   仕事とプライベートのバランスを取ったワーク・ライフ・バランスを実現することを目的として、2018年からフレックスタイム制度を導入
3. **有給休暇の取得推進と残業時間の抑制**
   社員が心身ともに健康な生活が送れるよう、有給休暇の取得を積極的に奨励するとともに、不要不急の残業を極力抑制する働きかけ
4. **育児・介護制度の整備**
   女性社員のみならず男性社員も育児・介護休暇の取得や時短勤務を取りやすい環境を整備
5. **副業・兼業制度**
   社員のモチベーションや定着率向上などを目的として副業・兼業制度を導入

DIVERSITY ―「個」を生かす組織作り―

1. **女性社員の活躍**
   現在の社長自身も長年アプリックスで中核を担い活躍してきた女性が務めており、男性のみならず女性も気持ちよく働ける環境作りを積極的に推進
2. **ID（ニックネーム）呼びにすることによる上下関係や組織の壁を取り払う試み**
   アプリックスでは入社時に決めたID（ニックネーム）でお互いを呼びあう制度を実施。個人を一意に識別し、尊重する社風が醸成されるとともに、上下関係や組織間にある見えない壁に捉われずに仕事に励むことができる環境作りを実施。
3. **個人の成果を適正に評価する人事評価制度**
   アプリックスの人事評価制度は能力・スキル・役割等に応じた等級制度（縦軸）と、成果に応じて昇降給が決定される等級ごとに設定された仕事給制度（横軸）で構成。社員の能力・スキルや成果がきめ細かく評価可能な制度を実現するとともに都度改善を図っている。

CAREER＆COMMUNICATION ―学習機会の提供やコミュニケーション活性化による チームワークの強化とモチベーションの向上―

1. **リカレント教育の推進（資格支援制度）**
   社員個人が今後のキャリア形成を考えるうえで必要となる知識やスキルの習得を支援する資格支援制度を実施
2. **社員間のコミュニケーション強化**
   外部合宿やバーベキュー大会など実際に社員同士が親交を深めることのできるイベントのほか、コロナ禍においてはオンラインによるビンゴ大会、クイズ大会や飲み会など会社主催のイベントを定期的に開催。また社員が4人以上で交流イベントを行う場合に参加社員一人あたり1,000円を会社から支給する「社内コミュニケーション活性化支援制度」を2023年より開始

上記に記載した施策や取り組みについては、当社ホームページのWEBページ「働きやすい環境作りへの取り組み」により詳細が掲載されていますので、よろしければそちらもご覧ください。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.

株式会社アプリックス

https://www.aplix.co.jp/

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後変更されることがあります。

Copyright © 2024 Aplix and/or its affiliates. All rights reserved.